

平成 26 年度 事業報告書

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人いわて連携復興センター

1 はじめに

震災から 4 年が経過した平成 26 年度。仮設住宅から災害公営住宅への移行が本格的に始まり、コミュニティ形成という側面からも支援団体の活動が地域においてなくてはならないものとなっていく中、私たちは団体設立時から行っている、課題共有の場づくり、活動資源のコーディネート、情報発信を活動のコアに据え、活動を進めて参りました。今年度特筆すべき活動としては、「平成 26 年度復興支援に係る行政・企業・NPO 間の協働を推進する「中核人材」の育成事業」「コミュニティ・オーガナイズングワークショップ実施協力事業」をはじめとする復興に向けた新たな担い手を創出するための活動を行ったことです。この活動により、復興支援に関連した人材以外の岩手県内で社会課題と向き合う方々と新たに出会い、そして活動のサポートをさせていただきました。これらの事業は次年度においても実施する方向であり、より多くの担い手の創出が期待されます。

また今年度は、復興庁からの委託事業「被災者支援コーディネート事業」を 3 県の連携復興センター、認定特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム、一般社団法人 RCF と協働で行ったことも大きな成果となりました。この事業を受けることができたのも、民間支援団体のほか、岩手県をはじめとする行政との日ごろからの連携が図られてきた結果でもあると思っています。

その他、岩手県復興局生活再建課や北上市をはじめとする行政、認定特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム、公益財団法人日本財団、認定特定非営利活動法人日本 NPO センターなどの全国的な支援組織の皆様のお支えを頂き活動を進めることができました。この 1 年間の関係各位のご指導、ご協力に厚く御礼を申し上げ、実施各事業について事業報告をさせていただきます。

2 実施事業

(1) 地域コミュニティの再生を図る事業

○「復興に向けた多様な担い手との連携強化と地域の担い手支援事業」事業（助成事業：認定特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム） *実施期間：平成 25 年 11 月～平成 26 年 4 月

平成 25 年 5 月～平成 25 年 10 月に行った「復興活動を推進する担い手の連携体制構築と事業支援」事業を継承し、情報発信、団体訪問、ネットワーク会議への参加、連携の場の創出等を行いました。この事業では、被災地で行われている事業がより効果が促進されるようなコーディネートという位置づけで、岩手復興応援隊事業等への情報提供等も行いました。

○被災地で活動する担い手が自立的・継続的に活動するための環境整備事業（助成事業：認定特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム） *実施期間：平成 26 年 5 月～平成 26 年 12 月

被災地で活動する担い手（個人・団体・行政・企業等）が自らの力で継続的に復興に向けた活動ができる環境を作ることを目的とした事業です。被災地の課題把握と、解決に向けた多様な担い手による「連携の場づくりと参加」、支援団体の継続的な活動に向けた「先進事例共有の場づくり」、岩手県の NPO として各種会議における発信と WEB を活用した情報発信、中間支援 NPO として支援に必要なノウハウやスキル向上のための視察や研修参加等を行いました。

○東日本大震災被災者支援プログラムおよび被災者支援コーディネート事業（委託事業：認定特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム） *実施期間：平成27年1月～平成27年7月

この事業は、認定特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム（以下：JPF）が支援するNPO等のモニタリングの実施、現地で活動するNPO等の組織基盤強化に繋がる研修の実施、県域での支援者間のネットワーク構築や体制の整備、被災者支援コーディネート事業に関連し、情報収集、案件発掘、支援のマッチング等を行う事業です。研修の実施や、支援者間のネットワーク構築は、これまでの「共に生きるファンド」における活動に則した活動であるため、下記成果に明記させていただきます。また、JPF 現地担当者とモニタリングの同行については初めての機会であり、ヒアリングのポイントや団体運営を見る視点を弊社スタッフも養うことができおり、大変有益な機会となっています。

○【連携の促進を図るために行った主催共催等各種会議の実施状況】

【JCN 現地会議 in 岩手 実施状況】（JCN と共催）

*JCN 現地会議は、被災地・被災者を支援している団体間の連携を促し、支援活動を続けるうえで抱える問題や課題を共に考える場「現地会議」を、岩手県、宮城県、福島県にて定期的開催しているもので、いわて連携復興センターは東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）と共催で企画・運営をしています。

回数	日付	開催場所	参加人数	内容
第10回	平成26年8月29日	ブランニューキタカミコンベンションホール	84名	テーマ1「理解を深める」ーマルチステークホルダー・プロセスとは何か？ー テーマ2「事例を知る」ー地域課題への取り組み事例を知るー テーマ3「ワークショップ」ー課題を把握して資源を見極めるプロセスの実践ー
第11回	平成27年3月6日	大船渡市市民文化会館 リアスホール マルチスペース	40名	テーマ1 事例を知る-必要な人材とは- テーマ2 ワークショップ-人材確保へ向けたプランニング-

【内陸避難者支援ネットワーク会議 実施状況】 *IFC 主催

*内陸避難者支援ネットワーク会議は、岩手県内で内陸避難者支援活動を行っている団体間の情報交換・共有を目的として開催している会議です。

回数	日付	開催場所	参加者数
第10回	平成26年4月18日	いわて連携復興センター北上事務所	16名
第11回	平成26年7月24日	オガール	21名
第12回	平成26年10月22日	いわて連携復興センター北上事務所	11名
第13回	平成27年1月23日	もりおか復興支援センター	21名

【その他参加・運営会議一覧】

○岩手県連携復興会議（岩手県復興局生活再建課をはじめとする復興に関わる各課や復興庁等が参加し 情報共有をミーティング） *IFC 主催

○わくわく山田座談会（山田地域で活動する支援団体間の情報共有会） *IFC 参加

○大船渡エリアミーティング（大船渡地域の支援団体間における情報共有会。参加「大船渡市市民活動

支援センター」、「助けあいジャパン」、「IFC」）＊4者共催

- 大船渡アクションネットワーク会議（大船渡地域の支援団体間（行政。社協含む）情報共有会）＊IFC参加
- 陸前高田エリアミーティング（陸前高田地域の支援団体間における情報共有会。参加「陸前高田まちづくり協働センター」、「助けあいジャパン」、「IFC」）＊4者共催
- 陸前高田協働ミーティング（陸前高田市内の支援団体間の情報共有会）＊IFC参加
- 陸前高田支援連絡調整会議（陸前高田で活動する支援団体が参加し、現状の課題をグループにわかれての検討する会議）＊IFC参加
- 釜石地区被災者支援連絡会議（釜石市・大槌町・遠野市の支援団体、行政、社協が情報共有を行う会議）＊IFC参加
- 釜石地域コミュニティ復興支援・団体等連絡会議（釜石市における行政（釜石市各課・警察・消防等）、社協、支援団体による情報共有の場）＊IFC参加
- 釜石エリア MTG（アットマークリアス NPO サポートセンターと IFC の情報共有会）＊2者共催
- 釜石まちづくり連絡会議（釜石地域の支援団体間情報共有会）＊IFC参加
- 大槌情報共有会 ＊IFC参加
- 中間支援 MT（釜石「アットマークリアス NPO サポートセンター」、大船渡「大船渡市市民活動支援センター」、陸前高田「陸前高田まちづくり協働センター」の中間支援組織と、IFC による情報共有の会）＊4者共催
- きたかみ復興支援協働体（北上市の行政・社協・支援団体が集まり、北上へ内陸避難されている方の支援を検討する会）＊IFC参加
- JPF 現地担当定例会議（JPF の岩手担当と IFC による情報共有会）（毎月）＊2者共催
- 岩手県防災ボランティア支援ネットワーク（岩手県・岩手県社会福祉協議会・日赤・IFC 他支援団体が次の大規模災害時の対応を定期的に検討する会）＊IFC参加

○支援団体の継続的な活動に向けた「先進事例共有の場づくり」

【みやこ市民活動促進会議「タネラボ」（特定非営利活動法人みやこラボと共催）】

日時	会議名	内容
第1回	平成26年6月9日	高齢者の食 宮古における配食サービスの可能性を考える
第2回	平成26年7月14日	○第1回研究会の振り返り ○テーマに関するディスカッションとブレスト
第3回	平成26年7月27日	『特別ミニ講演会 市民を巻き込む地域づくり =アーバングリーンの事例から=』
第4回	平成26年9月26日	○活動紹介 高齢者とひきこもり青年の相互支え合い ○事例紹介 地域課題に対する取り組みとこれから
第5回	平成26年11月27日	宮古の NPO の実例
第6回	平成26年12月11日	問題解決ってなんだろう？
第7回	平成27年1月22日	事業立案ってなんだろう？
第8回	平成27年2月12日	資金マネジメントってなんだろう？

【その他連携会議・各種研修会 実施状況（共催・協力含む）】

名称	日付	開催場所	内容
2014年度復興支援・地域課題解決に活用できる助成金説明会	平成26年4月30日	総合福祉センター	助成団体5団体をお招きし、公募中の助成金説明と、個別相談会
トヨタ財団 東日本大震災特定課題公募説明会のご案内	平成26年6月12日	釜石市民交流センター 2F 集会室	トヨタ財団 東日本大震災特定課題 公募説明会
「NPOって何？」	平成26年6月24日	ユースみやっこベース	NPOの基礎を学ぶ勉強会
企業とNPOの意見交換&交流 in 大船渡	平成26年7月31日	リアスホール	1%（ワンパーセント）クラブの東北視察の一環として、岩手のNPOとの意見交換を行う。
2015年『第3回国連防災世界会議 in 仙台』に向けた活動団体向け勉強会 @岩手	平成26年8月19日	小友地区コミュニティセンター	第3回国連防災世界会議が仙台市で開催されるのにあたり、市民活動団体がどのような形でこの会議に参画できるかを、一から学ぶもの
平成27年度「新しい東北」先導モデル事業の公募説明会	平成27年2月21日	あえりあ遠野	平成27年度「新しい東北」先導モデル事業の説明と、公開質疑を行うもの。

○被災者支援コーディネーター事業（委託事業：認定特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム）

***実施期間：平成27年1月～平成27年3月**

復興庁の「被災者支援コーディネーター事業」を特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム、一般社団法人 RCF復興支援チーム、一般社団法人 ふくしま連携復興センター、みやぎ連携復興センター（特定非営利活動法人 せんだい・みやぎ NPO センター）、特定非営利活動法人 いわて連携復興センターが協働で取り組んだ事業です。活動内容として、被災者の見守りやコミュニティづくりの支援を充実するため、新たな活動主体の参画や支援者間の連携強化を通じた支援体制の充実、企業CSR活動（企業の社会貢献活動）と自治体ニーズのマッチング、生きがいつくり支援事業を実施する各種主体（NPO等）と地域をつなぐコーディネーター等の活動を行いました。また、2月25日、大船渡市において、「被災者支援コーディネーター事業」支援者向け研修会を行いました。

○「仮設住宅におけるコミュニティ形成支援」事業（第2期）（委託事業：公益財団法人日本財団）

***実施期間：平成25年9月～平成26年8月**

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社のご寄附を元にした日本財団からの委託事業で、大槌・釜石・大船渡の仮設支援事業の後方支援継続と、将来に向けた支援体制の進化を目的とした事業です。大槌・釜石・大船渡の仮設住宅自治会の自発的な地域活動への助成を行う「自治会チャレンジ」の実施や、2014年度以降も仮設住宅に残る方への継続的支援の一環として、大船渡市市民活動センター設置や、同センターが行う市内の支援団体調査等を行いました。その他、仮設住宅の住環境を調査する「仮設住宅環境アセスメント調査」を行い、仮設住宅における新しいコミュニティ育成のための環境と仕組みの構築を行いました。

○「仮設住宅におけるコミュニティ形成支援」事業（第3期）（委託事業：公益財団法人日本財団）

***実施期間：平成26年10月～平成27年9月**

平成24年1月より行っている、「仮設住宅におけるコミュニティ形成支援」事業の第3期です。本事業

では、第 2 期より行っている「自治会チャレンジ」の実施を、大船渡、大槌の仮設住宅団地で行うとともに、持続的な支援環境づくりの一環として、大船渡、釜石、陸前高田の市民活動センターの支援を、釜石市においては、「アットマークリアス NPO サポートセンター」と、陸前高田市では「レスパイトハウス・ハンズ」、大槌町・大船市では「いわて NPO-NET サポート」と連携して行っています。その他、仮設住宅にお住まいの方に対して、直接的な QOL 向上に寄与する活動団体の立ち上げ支援や育成を行っています。

○平成 26 年度いわて三陸復興のかけ橋推進業務（委託事業：公益社団法人助けあいジャパン）

いわて未来づくり機構が公益社団法人助けあいジャパンに委託し、岩手県内外の復興支援マッチング、復興関連情報の発信等の事業として行う、「平成 26 年度いわて三陸復興のかけ橋推進業務」のうち、沿岸交流会、各種支援情報の発信を行う事業です。沿岸交流会は、復興に向けた企業同士のマッチング交流会や支援団体が継続的な活動を行うことを目指した助成金説明会を開催しました。情報発信においては、復興支援活動に活用できる助成金（掲載件数：104 件）や沿岸市町村情報等（掲載件数：376 件）の発信作業を行いました。沿岸交流会の開催状況は下記の通りです。

【沿岸交流会実施状況】

回数	日付	開催場所	内容
第 1 回	平成 26 年 6 月 26 日	岩手県公会堂	～第 1 回沿岸マッチング交流会～ 1、支援提案企業による事業、実績紹介 (株)盛岡ターミナルビルフェザン、(株)川徳 2、個別商談、懇親会
第 2 回	平成 26 年 7 月 25 日	県北広域振興局	1、通信販売（EC サイト）に関する基礎知識と効果的な活用法について 2、EC サイト「きたさん・まるしえ」について 3、個別商談、懇親会
第 3 回	平成 26 年 8 月 21 日	大船渡地域振興センター	1、事業を応援する仕組み紹介 ・弥生株式会社、イノベーション東北、NPO 法人遠野まごころネット 2、個別商談
第 4 回	平成 26 年 10 月 9 日	NPO 法人カリタス釜石 1 階多目的ホール	1、助成団体による活用できる助成金説明 社会福祉法人読売光と愛の事業団、公益財団法人トヨタ財団、日本郵便株式会社、特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム、認定特定非営利活動法人日本 NPO センター 2、助成団体と支援団体による個別相談会
第 5 回	平成 26 年 10 月 10 日	宮古市民総合体育館（シーアリーナ）3 階大会議室	1、助成団体による活用できる助成金説明 社会福祉法人読売光と愛の事業団、公益財団法人トヨタ財団、日本郵便株式会社、特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム、認定特定非営利活動法人日本 NPO センター 2、助成団体と支援団体による個別相談会
第 6 回	平成 27 年 2 月 25 日	二又復興交流センター	～助成金申請に向けた企画の立て方・まとめ方と申請書を書くにあたってのポイントを学ぶ～ 講義①助成金とは何か 講義②事業計画の基本

第7回	平成27年 2月26日	アイーナ団体活動室3	～助成金申請に向けた企画の立て方・まとめ方と申請書を書くにあたってのポイントを学ぶ～ 講義①助成金とは何か 講義②事業計画の基本
第8回	平成27年 2月27日	大通会館リリオ	～第2回沿岸マッチング交流会～ 1、支援提案紹介 株式会社川徳、株式会社 金入 2、個別相談・商談

○「岩手・宮城・福島における復興まちづくり 住民合意形成組織調査」事業（委託事業：一般財団法人ダイバーシティ研究所）

平成23年より定期的に行っている3県連携復興センター会議。今年度は、一般社団法人ダイバーシティ研究所が日本財団から助成を受け運営を行い、この枠組みの中で、「岩手・宮城・福島における復興まちづくり 住民合意形成組織調査」事業を行いました。「岩手・宮城・福島における復興まちづくり 住民合意形成組織調査」は、住民による復興まちづくりのための合意形成組織を対象とし、その組織運営や意思決定の方法、財務状況、外部からの支援の状況を調べることで、被災3県の全体的な現在の課題と今後の支援の在り方を明らかにすることを目的とし、アンケート調査とヒアリング調査を行ったものです。また、調査内容を取りまとめた調査報告書の作成も行いました。

○きたかみ復興支援協働体・復興ステーション事業（参画事業）

「きたかみ復興支援協働体」の一員として、に昨年度に引き続き当法人も参画しました。隔週で行われる定例のミーティングにおいて、支援に関する各種情報の提供や、事務所会議室の提供等を行いました。

（2）地域の雇用機会の拡充を図る事業

今年度の活動はありませんでした。

（3）都市部と被災地の交流を図る事業

○東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業（岩手）（補助事業：公益財団法人東京都歴史文化財団）

2011年度から行っている事業で、被災地の地域コミュニティへ芸術文化による復興支援を行うことを目的とした事業で、今年度は、「きむらとしろうじんじんの野点 in 釜石・大槌」と「とうほくのこよみのよぶね」の2つのプロジェクトを、釜石市のアットマークリアスNPOサポートセンターさんへ、また、大槌町内のコミュニティ誌ひょうたん塾通信「tatsutto」の発行をひよっこりひょうたん島プロジェクト実行委員会さんへそれぞれ委託し実施しました。「きむらとしろうじんじんの野点 in 釜石・大槌」は、9月28日、10月5日に大槌町及び釜石市で、「日比野克彦アートプロジェクト」は3月10・11日、こちらも釜石市で行いました。

○ネットワーク推進員支援事業（委託事業：東日本大震災支援全国ネットワーク）

東日本大震災支援全国ネットワーク（以下JCN）と協働し、岩手において必要な情報や資源を、全国へ発信し、解決や次の支援へ導く事業です。この事業でスタッフ1名を雇用し、「JCN現地会議」の開催運営や、沿岸地域の団体ヒアリング・ニーズ把握等の活動を行いました。また、宮城・福島の現地担当との定期的に情報交換する「ケース検討会」の参加や、東北の地元物産品や手作り品をブース販売する「東北応援ビレッジ」の運営も行いました。

○住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラム 2014－インターンシップ奨励プログラム－
 (委託事業：特定非営利活動法人市民社会創造ファンド)

住友商事株式会社が主催し、特定非営利活動法人市民社会創造ファンドが運営を行っているプログラムで、被災地（岩手・宮城・福島）で活動している NPO を活動現場とし、9 ヶ月間にわたるインターンシップ活動を応援する事業です。いわて連携復興センターでは今年度このプログラムで 1 名のインターンを受け入れ、NPO 記録誌の取材・作成や、各種会議・研修の運営・参加、自主企画の運営等の活動を行いました。

(4) その他、被災地支援のための連携復興事業

○市民活動団体育成強化プロジェクト 岩手事務局委託 (委託事業：認定特定非営利活動法人日本 NPO センター) *実施期間：平成 26 年 4 月～平成 26 年 9 月

特定非営利活動法人ワールドビジョンジャパンの寄附をもとに、日本 NPO センターが、岩手・宮城・福島の 3 県において、NPO 等の組織基盤強化を目的とし、2012 年 5 月より始まった「NPO を磨く 15 の力」やメンターサポート、組織力向上サポート助成等を行っているもので、いわて連携復興センターでは、このプロジェクトの岩手県事務局の委託を受け、参加メンバーのフォローを行っている事業です。今年度は事業全体の取りまとめ作業を日本 NPO センターと共に行い、団体を訪問して受講生にヒアリングを行うモニタリング同行やレポートの取りまとめ等を行いました。

○いわて連携復興センター総合研究所事業 (助成事業：認定特定非営利活動法人日本 NPO センター)
 *実施期間：平成 26 年 4 月～平成 26 年 9 月

法人内にある団体情報の属人化を防ぎ、精度の高いマッチングへ繋げることを目的とし、団体内に「データベース」の構築を図るプログラムです。データベースは「マイクロソフト DynamicsCRM」を導入し、office365 との連携により、スタッフの活動状況や、顧客管理などがクラウドで一元管理され、情報の属人化を防ぐことができるようになりました。

○平成 26 年度復興支援に係る行政・企業・NPO 間の協働を推進する「中核人材」の育成事業 (助成事業：公益財団法人日本財団)

行政、企業、NPO 間の連携を促進し、地域資源を活用した継続的な復興に向け、今後も復興を担っていくセクターを越えた「中核人材」を増やしていくことを目指して行った事業です。具体的には、岡山 NPO センターと協働で実施した事務局力検定をはじめとする協働に関する勉強会の開催、復興支援活動の事業化を目指し、企業と NPO そして市民が win-win になるような活動「いわてトライアングッド」の推進、そして復興支援活動を全国に発信するための「IWATE NPO.PV」の作成等を行いました。

○協働に関する勉強会の開催

日付	開催場所	タイトル	内容
平成 26 年 9 月 11 日	紫波町情報交流館 大スタジオ	企業との連携で NPO 活動を推進するには ～寄附付き商品の作り方を学ぶ～	市民参画先進地である高知から、多数の寄附付き商品のモデルを生み出した東森歩さんをお招きし、皆さんの活動の中から寄附付き商品を生み出すポイントを学ぶ。(講師：ファン度レイジング・マーケティング代表 東森歩氏)

平成 26 年 10 月 30 日	ふれあいランド岩手 ふれあいホール	災害時の避難所運営支援に係る ボランティア研修会	災害時、ボランティアとして避難所運営を支援することとなった場合に、有効な活動につなげられるよう、講義と訓練（模擬体験）HUGを実施する。（講師：NPO 法人エンジェルウイングス 藤澤健児氏）
平成 26 年 11 月 5 日	NPO 法人カリタス 釜石 1 階多目的ホール	地域の中の NPO の役割～市民活動 先進地高知の取組みから学ぶ～	・地域課題解決を担う市民の力…NPO 法人・市民活動団体について、高知の事例を紹介 ・地域の NPO 法人等と企業などの win-win の連携とは…地域で活動する NPO 法人等、企業双方にメリットのある取組事例の紹介 （講師：ファン度レイジング・マーケティング代表 東森歩氏）
平成 27 年 2 月 16 日	リアスホール	NPO 法人事務局セミナー&事務 力検定	・NPO 法人事務局セミナー ・NPO 法人事務力検定 検定準備・説明、NPO 法人事務力検定 検定問題回答解説 （講師：岡山 NPO センター 加藤彰子氏）
平成 27 年 2 月 23 日	あえりあ遠野	NPO と法	「法律の考え方」「今後の災害に活かす」「アドボカシー」「過去の震災と法の成り立ち」「NPO のルール」「NPO の存在意義」「制度を作っていく NPO の役割」「NPO の社会的位置づけ」以上、8 つのポイントで津久井先生からお話いただく。（講師：弁護士 津久井進氏）
平成 27 年 3 月 12 日	みんなの家かだつて	企業・NPO 連携の実践	・「三陸ひとつなぎ自然学校」「SoRa」の発表 ・講師によるレクチャー ・実際に連携するにあたってのプランニングを行うワーク （講師：ファン度レイジング・マーケティング代表 東森歩氏）
平成 27 年 3 月 12 日	みやっこハウス	企業・NPO 連携の基本	・講師によるレクチャー ・実際に連携するにあたってのプランニングを行うワーク （講師：ファン度レイジング・マーケティング代表 東森歩氏）

○復興支援活動の事業化（いわてトライアングッド）

日付	開催場所	タイトル	内容
平成 26 年 6 月 26 日	花巻市立西南中学校	岩手のプロスポーツチームにふれよう	・桶谷ヘッドコーチの講演 ・ブルズの公開練習見学 ・ワンポイントクリニック
平成 26 年 9 月 26 日	KAKERU	食べて復興支援！ ～寄附付き商品という支援のカタチ～	・趣旨説明 ・SAVE TAKATA の取り組み、米崎りんごジャムへの思い

			<ul style="list-style-type: none"> ・商品説明 / KAKERU ・昼の部：試食・懇談会 / 夜の部：試食・交流会
平成 26 年 12 月 19 日	KAKERU	浜娘の新酒を楽しみながら大槌の 今を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨説明 ・浜娘とこれまでとこれから ・大槌の今/NPO 法人吉里吉里国より ・新酒紹介
平成 27 年 3 月 28 日	KAKERU	いわて缶詰力向上委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・知る…岩手県産株式会社さんより、Cava 缶の誕生秘話や知られざる思いをご紹介 ・食 べ る…Cava 缶を使った創作料理をお店から数品ご提供。 ・寄付する…フードバンク岩手さんより、缶詰（食品）の新たな使い道のご紹介。

○復興支援活動紹介

日付	開催場所	タイトル	内容
平成 27 年 3 月 11 日	ホテル東日本 鳳 鳳の間	あったかいわて異業種交流会	<ul style="list-style-type: none"> ・あの日、あの時 ～企業経営者の想いと行動～ ・地域で活動する団体プレゼンテーション ・京都西川の新たな取り組み ～羽毛リサイクルで被災地支援～ ・共同募金はじぶんの町を良くするしくみ ・特別講演：「共感を集める『寄付つき商品の作り方』（講師：ファン度レイジング・マーケティング 代表 東森歩氏）
平成 27 年 3 月 13 日 (公開日)	三陸沿岸地域	IWATE NPO.PV	岩手の元気を発信する目的として復興支援に関わっている NPO のプロモーションビデオを制作

○東日本大震災における NPO セクターの活動履歴の保存と、次の有事に対し平時から NPO として持つておくべき予備知識や備えをまとめた冊子作成事業（助成事業：日本郵便株式会社）

東日本大震災における NPO セクターの活動履歴の保存と、緊急災害フェーズで果たした役割を一般の方へも発信するとともに、次の災害が起きた時に向け平時から NPO として持つておくべき予備知識・備えを冊子として取りまとめる事業です。岩手県内の震災前から活動している NPO（10 団体）、岩手県内の震災後に設立された NPO（21 団体）、県外の支援団体（14 団体）の取材・執筆を行い、冊子として取りまとめました。

○コミュニティ・オーガナイズングワークショップ実施協力事業（委託事業：特定非営利活動法人コミュニティ・オーガナイズング・ジャパン）

NHK クローズアップ現代でも特集され話題になったハーバード大学ケネディスクールマーシャル・ガンツ博士による市民一人一人のリーダーシップをはぐくむ『コミュニティ・オーガナイズング・ワークショップ』。このワークショップを岩手県で開催するにあたり、開催周知、参加者募集、当日の運営等、開催に係る現地コーディネートを行った事業です。2 月 14 日～15 日、2 月 28 日～3 月 1 日の 4 日間に渡って行われた研修には、21 名の参加がありました。また、実績のために個別で参加団体へのコーチング

を行っている。

○復興人材プラットフォーム構築事業（委託事業：公益財団法人日本財団）

復興庁が行う復興人材プラットフォーム構築事業（企業から行政・NPO への人材派遣）を円滑に進めることを目的とし、県内 NPO・行政の求人についての情報発信や、フォローを行う役割を担った事業です。

○伝えるコツ現地開催調整事業（委託事業：株式会社電通）

株式会社電通より岩手県における NPO 等が広報力を養うセミナー「伝えるコツ」開催に辺り、開催までの現地コーディネートの委託を受けている事業です。今年度は 1 月に釜石のアットマークリアス NPO サポートセンター主催の事業に協力させていただきました。概要は下記の通りです。

- 伝えるコツ開催概要 -

タイトル：「伝えるコツ」in 釜石

日時： 2015 年 1 月 21 日（水）10:00～17:00

会場： NPO 法人カリタス釜石 1F 多目的ホール（釜石市大只越町 2-4-4）

講師：（株）電通 シニア・クリエイティブ・ディレクター 横尾嘉信 氏 チーフ・プランナー 蓮村俊彰 氏

主催：NPO 法人アットマークリアス NPO サポートセンター

共催：NPO 法人いわて連携復興センター 認定 NPO 法人日本 NPO センター（株）電通

協力：NPO 広報力向上委員会 協力：NPO 広報力向上委員会、NPO 法人夢ネット大船渡

参加者：21 名

○東日本大震災復興支援車両管理事業（委託事業：認定特定非営利活動法人日本 NPO センター）

認定特定非営利活動法人日本 NPO センターが所有する復興支援車両を、いわて連携復興センターが、管理している事業です。

3 主な会議・行事等開催日程

○通常総会

平成 26 年 5 月 22 日（木）いわて連携復興センター北上サテライト 出席者 12 名

○理事会

第 1 回 平成 26 年 4 月 24 日（木） 14 時 00 分～ IFC 北上サテライト 出席者 6 名

第 2 回 平成 26 年 5 月 22 日（木） 16 時 00 分～ IFC 北上サテライト 出席者 6 名

第 3 回 平成 26 年 7 月 29 日（火） 15 時 00 分～ IFC 北上サテライト 出席者 5 名

第 4 回 平成 26 年 10 月 8 日（水） 15 時 00 分～ IFC 北上サテライト 出席者 5 名

4 運営に関する報告

○会員数（平成 27 年 3 月 31 日現在）

正会員：16 名（個人正会員）

以上